



食育だより

令和7年2月28日
小田原市教育委員会
小田原市立富水小学校

ひ 日ごろから学校給食にご理解・ご協力いただき、ありがとうございます。食育だよりでは、市内各校の取り組みや子どもたちの声などをお伝えします。今回は、学校給食の一大イベント、12月・1月に実施した「学校給食週間」の様子をお知らせします。

学校給食週間とは？

日本で一番初めの給食は、明治22年です。山形県にあった小学校で、お弁当をもってこれられない子どもたちのために、その日に手に入る食べ物でお昼ごはんを出したのが始まりです。その後、戦争による食糧不足の影響で中止してしまいましたが、戦後の昭和21年アメリカのラウから給食用物資の寄贈を受け、子どもたちの栄養状態を改善するために学校給食が再開されました。給食用物資の贈呈式が行われた12月24日を「学校給食感謝の日」としましたが、冬季休業と重ならない1月24日から30日を「学校給食週間」としました。



市役所の学校給食展の様子

小田原でとれたお米を給食に！

学校給食では、安全・安心・新鮮でおいしい地元産の食材をできるだけ多く取り入れ、地元産のお米を使用した新立づくりに努めています。家庭用の電卓炊飯器を使い、給食室で炊いたご飯を量かいます。お米は、小田原市と足柄の市町村でとれた「はるみ」という品種を使用しています。学校給食のある豊原小学校、久野小学校、桜井小学校、鶴田小学校では、品種ごとのお米給食に活用することがあります。

学校給食のようす



給食室のようす



市役所のようす



学校給食のようす



本市では、平成26年から全学校で3年間の米給食を実施していますが、給食室には炊飯器がないため、給食室がなくても給食が食べられるように、米給食用の炊飯器を使用しています。



小田原市の取り組みについて

毎年、学校給食週間に合わせ、学校給食における食育の取り組みなどを紹介する学校給食展を行っています。今年度のテーマは、「きゅうしょくだいすき！ーおだわらの豊かな恵みを子どもたちへー」でした。市民の皆さんに給食について知っていただくため、学校給食の歴史や小田原の学校給食、地産地消マップ、新しい学校給食センター、各学校における食に関する指導の取り組みを紹介するパネル展示の実施、子ども料理レシピの配布を行いました。小田原市HPでも学校給食に関することや子ども料理レシピ集について掲載していますので、興味のある方は、ぜひ一度ご覧ください。下のリンク・QRコードからもご覧いただけます。

【小田原市の給食に関すること】

<https://www.city.odawara.kanagawa.jp/field/edu-ch/education/sl/>

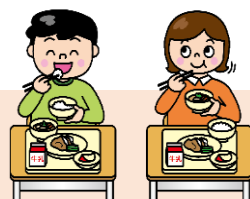
【子ども料理レシピ】

<https://www.city.odawara.kanagawa.jp/field/edu-ch/education/sl/menu/p37608.html>





かくがっこうとく
各学校での取り組みを
しょうかい
紹介します！



ちょうりいん
調理員さんへの
かんしゃ てがみ
感謝の手紙



きょうしゅうかん
給食週間
けいじばん
掲示版



きょうしゅう
給食を
まもって
支えてくれる人紹介



とみずきょうしゅう
富水給食
しょうかい
集会



ちょうりいん
調理員さんへ
かんしゃ きもち
感謝の気持ちを
お届け！

ぜんこうじどう かんしゃ
全校児童の感謝
の気持ちがこも
った手紙が送ら
れました。



～子どもたちのメッセージより～
「いつも朝早くから冷たい水で野菜を洗って大変ですが、給食をつくってくれてありがとう。」「嫌いな食べ物が給食で食べられるようになったよ。」「おいしい給食のおかげで、午後も集中して勉強ができます。」「赤・黄・緑の食品がそろった体にいい給食で、昼休みに元気いっぱい遊べます。」「味わって残さず食べます。」



はな ひら
お花を開くとメッセージが！



たくさんのてがみ



あがみ はなばたば
折り紙の花束とお手紙



と飛び出すカード



きょうしゅうちょうり ようす ちょうりいん
給食調理の様子や調理員さんのインタビュー動画を視聴して、子どもたちは調理員さんの
たいへん 大変さを知りました。給食週間は、感謝の気持ちを届ける、よい機会となりました。

